

2025 年 3 月吉日

桐蔭横浜大学

学長 森 朋子 殿

動物実験に関する検証結果の報告について

貴機関より依頼のありました、動物実験の実施状況に関する検証について、提出された資料と訪問調査により検証結果をまとめましたので、別添のとおり報告いたします。検証実施証明書も同封させていただきます。

なお、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」では、検証の結果を、インターネットの利用、年報の配布その他の適切な方法により公表することとなっておりますので、申し添えます。

公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会 委員長 森松 正美



動物実験に関する検証結果報告書

桐蔭横浜大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2025 年 3 月

日実動学-外検発 第 R7-27 号-報

2025 年 3 月 14 日

桐蔭横浜大学
学長 森 朋子 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 小倉淳郎



対象機関：桐蔭横浜大学
申請年月日：2024 年 7 月 29 日
訪問調査年月日：2024 年 12 月 13 日
調査員：畔上二郎、加納 聖

検証の総評

桐蔭横浜大学は、学校法人桐蔭学園系列の大学として 1988 年に桐蔭学園横浜大学（工学部）として開設され、1997 年に現在の名称に変更し、現在は、法学部、医用工学部、スポーツ科学部、現代教養学環の 3 学部、1 学環を有する私立大学である。動物実験を行っている学部は、医用工学部とスポーツ科学部であり、大学内の動物実験施設は、先端医用工学センター実験動物飼育室と別棟の分室の 2 施設である。動物実験は、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」及び環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に規定された内容を含む「桐蔭横浜大学動物実験規則」の下で管理されている。特に先端医用工学センターにおいて衛生管理が徹底していることは高く評価できる。一方、実験動物の飼養保管の体制や一部施設の衛生管理において、不十分な面がある。動物実験及び実験動物に関する最新情報を入手し、より適切な動物実験の管理体制を構築するよう努められたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程として、「桐蔭横浜大学動物実験規則」が定められており、その内容は基本指針に則した内容である。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 機関内規程に付属する文書等の内容を充実させ、より適切に運用されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程には、基本指針に則り動物実験委員会の役割や構成等が定められている。また、委員会による動物実験計画書の審査、動物実験の実施状況及び結果の把握、飼養保管施設の視察並びに教育訓練等を実施する体制がとられている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見 委員会構成において、基本指針で要請されている「その他の学識経験を有する者」が一時空席となっているが、動物実験計画書の審査が適正に行われるように常時配置されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ☐ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「飼養保管施設設置承認申請書」「動物実験計画書」「動物実験自己点検および年次報告書」及び「実験動物飼養保管状況の自己点検票」の様式が定められているが、機関内規程で規定している「終了又は中止」した際に提出する様式のほか、「実験室設置承認申請書」「施設等廃止届」の様式が定められていない。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☐ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 機関内規程で規定している様式類を定めたい。また、所定の申請、承認手続きをとりたい。また、「動物実験計画書」の記載マニュアル等を作成し、動物実験委員会の適正な審査を行うに必要な事項を漏れなく記載するよう検討されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 遺伝子組換え動物実験を行うために「桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全管理規則」「桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全管理規則実施細則」及び「桐蔭横浜大学遺伝子組換え実験安全管理委員会規程」を定めているほか、「桐蔭横浜大学研究用微生物危険防止規則」「同実施細則」及び「桐蔭横浜大学バイオセーフティー委員会規則」が制定され、安全管理に注意を要する動物実験は適正に管理されている。また、動物実験に使用する向精神薬の使用について、行政への必要な手続きを行っている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 機関内規程に飼養保管施設の要件が定められ、各飼養保管施設には実験動物管理者が配置されている。一方、一部の施設では機関内規程で規定している飼養保管に関する SOP が定められていないほか、緊急時の対応マニュアルに相当する文書に、地震、火災時等のとるべき措置に関して十分な記載がない。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 飼養保管基準及び機関内規程に則り、飼養保管に関する SOP には、飼育環境への順化又は順応、飼育室の環境条件、健康管理の方法、逸走防止措置と逸走時の対応、環境の汚染及び悪臭、害虫の発生等の防止等を含め、施設間で統一性を持たせるよう検討されたい。また、地震、火災時等のとるべき措置を緊急時の対応マニュアルに定め、関係者に周知徹底されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

今回の外部検証を経て、より適切な動物実験の実施体制を構築しようとする関係者の意欲は評価できる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会は、動物実験計画の審査とその実施状況の確認、動物福祉に関する教育訓練及び飼養保管施設申請時の調査を行い、委員会議事録を作成して保管している。一方、自己点検・評価は実施されているが委員会での審議がされていなかった。したがって、動物実験委員会の活動状況について、「基本指針に適合し、適正に機能している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。
3) 検証の結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 自己点検・評価の結果は、動物実験委員会で確認、審議したうえで機関の長へ報告されたい。また、動物実験計画の審査に際しては、代替法の検討がなされているかなど動物実験計画の審査をより慎重に行い、その実施結果については、3Rs の理念の遵守状況を確認し、機関の長へ改善に向けての必要な助言を行うよう検討されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験責任者の退職に伴い動物実験自己点検及び年次報告書が提出されなかったことから、自己点検・評価は「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とされたが、その後委員会で把握、確認し、完結していることから概ね問題はないと評価される。一方、一部の報告書では、計画の変更の有無や使用した動物数等、機関内規程で規定した報告事項が記載されていない。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

安楽死方法については、最新情報を参考にして SOP を作成し、関係者に周知することにより、より適切な方法で実施することを検討されたい。また、動物実験計画書及び報告書には、機関内規程で規定した内容を漏れなく記載することを周知徹底されたい。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理に注意を要する動物実験を行うために必要なオートクレーブや安全キャビネット等の機器は整備されている。また、関連する委員会の間で必要な情報共有がなされ、適正に実施されている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

各飼養保管施設の自己点検は、動物実験委員会委員長が行っている。また、自己点検・評価で SOP の一部不備があげられているものの、飼養保管状況に問題視する点はなく、飼育管理記録は適切にとられている。さらに、先端医用工学センター実験動物飼育室においては、害虫発生防止対策をはじめとして衛生管理が徹底している。したがって、実験動物の飼養保管状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」とする。

3) 検証の結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設の維持管理状況に大きな問題はなく、温湿度記録簿、施設保守点検記録、オートクレーブの点検記録などの関連記録が適切にとられ保管されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 一部の施設においては、飼育室や実験室内の整理整頓に努め、衛生管理や動物の逸走防止対策を徹底されたい。なお、視察した施設間で衛生管理レベルに差があることから、可能であれば、げっ歯類の動物実験施設を集約させ集中管理できるよう長期計画を立案し対応することが望ましい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 施設利用者及び関連学部生を対象として、動画教材等を用いて、動物実験及び実験動物の関連法令、指針、機関内規程、3Rs を含む実験動物の福祉、施設の利用方法などの教育訓練を実施している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。

- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物管理者の任務は重要であることを踏まえ、対象者には日本実験動物学会等の外部の研修を受講させることを検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

大学ホームページに「動物実験」の欄を設け、機関内規程の全文と年間の動物実験承認件数を公開しているが、自己点検・評価の結果、飼養及び保管や教育訓練の実績の具体的な状況並びに動物実験委員会に関しては掲載されていない。したがって、自己点検・評価、情報公開について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

自己点検・評価の結果及び本検証結果報告書を含め、機関内規程で規定された情報公開項目を、国立大学法人動物実験施設協議会及び公私立大学実験動物施設協議会の要請内容を参考に整理して公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

動物実験を実施するための最新の情報を入手し、より詳しい専門家の指導を受けるためにも公私立大学実験動物施設協議会に入会することを検討されたい。

日実動学-外検発 第R7-27号-証

検証実施証明書

桐蔭横浜大学
学長 森 朋子 殿

貴機関は、公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

2025年3月14日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 小倉 淳郎



No.2025-27

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



CERTIFICATE

President Prof. Tomoko Mori
Toin University of Yokohama

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certifies that Toin University of Yokohama received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2024".

Sincerely yours

14 March, 2025

Atsuo OGURA, Ph. D., D.V.M
President
JALAS

Masami MORIMATSU, Ph.D.,
D.V.M., DJCLAM
Chairman
Assessment and Verification
Committee, JALAS